

平成 27 年度プリムラ利用状況 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

平成 27 年度プリムラ利用状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開設日	21	18	22	22	16	19	21	19	19	19	20	22	238
補助	89	101	138	148	90	120	99	93	107	81	137	132	1355
自主	2	0	1	1	4	1	3	4	0	2	1	0	19
合計	91	101	139	149	94	121	102	97	107	83	138	132	1354

**平成 27 年 4 月** 4 月の利用者数は 91 名です。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 37（41%）、2 位は 3 才児の 13 名（14%）、3 位は 2 才児の 11 名（12%）でした。1 才児 37 名のうち 30 名は上気道炎で、突出しています。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 59 名（全体の 65%）で突出しており、2 位は咽頭炎の 11 名（12%）、3 位は喘息様気管支炎の 4 名（4%）でした。呼吸器系疾患が全体の 89% も占めました。

**平成 27 年 5 月** 5 月の利用者数は 101 名で久しぶりに 100 名を超え、5 月としてはこれまでの最多でした。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 42 名（42%）、2 位は乳児の 17 名（17%）、3 位は 2 才児の 12 名（12%）でした。1 才児と乳児の割合が多く、通常の傾向に戻ってきました。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 44 名（44%）、2 位は咽頭炎の 29 名（29%）、3 位はアデノウイルス感染症、および溶連菌感染症の 6 名（6%）でした。二つの疾患は入室時の検査キットを用いた検査により、迅速に診断できます。今月も呼吸器系疾患が全体の 87% を占めました。

**平成 27 年 6 月** 6 月の利用者数は 139 名でプリムラ創設以来最多となりました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 62 名（44%）、2 位は乳児の 27 名（19%）、3 位は 3 才児の 19 名（14%）でした。

先月と同様に 1 才児と乳児の割合が多い傾向が続いています。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 55 名（40%）、2 位は咽頭炎の 21 名（15%）、3 位は感染性胃腸炎の 20 名（14%）でした。アデノウイルス感染症、溶連菌感染症、気管支炎などを含む呼吸器系疾患は 119 名で、全体の 86% を占めました。手足口病は 9 名（6%）ですが、大流行が喧伝されています。

**平成 27 年 7 月** 7月の利用者数は149名で先月に引き続き最多記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の74名(50%)、2位は2才児の24名(16%)、3位は乳児の19名(13%)でした。先月と同様に0~2才児の割合が多い傾向が続いています。

疾患別順位の1位は手足口病の50名(34%)、2位は上気道炎の34名(23%)、3位は咽頭炎の21名(14%)でした。手足口病は先月9名でしたので一挙に5倍に増えました。

全国的にも大流行しており、プリムラでもその影響が顕著に現れました。50名のうち1才児が28名、2才児が11名、乳児が6名で、0~2才児で90%を占めています。

**平成 27 年 8 月** 8月の利用者数は94名で8月の最多記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の45名(48%)、2位は2才児の12名(13%)、3位は乳児の11名(12%)で7月と同じ順位でした。先月と同様に0~2才児の割合が多い傾向が続いています。

疾患別順位の1位は咽頭炎の23名(24%)、2位はRSウイルス感染症で20名(22%)、3位は同率で上気道炎と喘息様気管支炎の19名(20%)でした。これらの呼吸器系疾患で全体の86(%)を占めました。先月1位の手足口病は10名に急減しました。流行は終息に向かっているようです。

**平成 27 年 9 月** 9月の利用者数は121名で9月の最多記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の51名(42%)、2位は2才児の17名(14%)、3位は3才児の16名(13%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎で43名(36%)、2位は喘息様気管支炎の24名(20%)、3位は咽頭炎の15名(12%)でした。RSウイルス感染症も12名(10%)と多く、これらの呼吸器系疾患で全体の83(%)を占めました。

**平成 27 年 10 月** 10月の利用者数は102名で10月の最多記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の52名(51%)、2位は2才児の16名(16%)、3位は3才児の8名(8%)でした。

疾患別順位の1位は上気道炎で39名(38%)、2位は胃腸炎の20名(20%)、3位は咽頭炎の16名(12%)でした。胃腸炎が2位となりましたが嘔吐、下痢を伴う感染性胃腸炎で、例年冬に向かい増加の傾向です。





## 作品例

**平成28年1月** 1月の利用者数は83名でした。暖冬のせいか月の初めは利用者が少なかったのですが、月の後半から急増しました。年齢別順位の1位は2才児の19名(23%)、2位は1才児の16名(19%)、3位は6才児の11名(13%)でした。6才児が3位までに入るのは珍しいことです。

疾患別順位の1位は上気道炎で30名(36%)、2位はインフルエンザで15名(18%)、3位は咽頭炎の14名(17%)でした。いずれも呼吸器系疾患ですが溶連菌感染症などを含む呼吸器系疾患が全体の92%を占めました。月の後半に急増したのがインフルエンザです。本格的な流行が始まったようで、2月には更なる増加が予測されます。

プリムラでは年間計画を立てて製作活動を続けています。12月はクリスマスですが今年は「クリスマスリース」を製作しました。こどもの年齢や病状などを勘案し作業があまり負担にならないよう、職員が手作りのパーツを準備しておきます。こどもたちは好きなパーツを選んで思い思いに仕上げて行きます。お帰りの時には大事に持ち帰って行きます。今回は延16名が参加しました。



**平成 28年 2月** 2月の利用者数は138名で2月の月間記録を更新しました。1月末から急増したインフルエンザが大半で、本格的な流行となりました。年齢別では5才児及び6才児の29名（各々21%）、4才児の23名（17%）で1月と傾向が全く異なりました。4才以上で全体の約3/4を占めますが、多くはインフルエンザです。

疾患別ではインフルエンザで100名（72%）、上気道炎の18名（13%）、咽頭炎の6名（4%）でした。インフルエンザの内訳はA型；44%、B型；56%でB型が若干多い傾向です。例年ですとA型の流行が終わってからB型の流行が始まりますが、今年はほぼ同時に始まっています。

**平成28年 3月** 3月の利用者数は132名で3月の月間記録を更新しました。1月末から急増したインフルエンザがなお半数を占め流行が続いています。年齢別では1才児の38名（29%）で通常の傾向に戻りました。次いで2才児の22名（17%）、6才児の16名（12%）でした。

疾患別ではインフルエンザの67名（51%）、上気道炎の47名（36%）、胃腸炎の7名（5%）でした。インフルエンザの内訳はA型；13%、B型；87%でB型が圧倒的に多くなりました。平成27年度の利用者数は1300名を超え、プリムラ創設以来最多になりました。

プリムラは4月から13年目になります。平成16年4月に自主で開設した当時、ご利用頂いた0歳の赤ちゃんたちは、今年小学校を卒業して中学生になります。

「中学入学おめでとう、大きくなりましたね。頑張ったね」皆の顔が浮かんできます。

平成28年度の保育定員は1名増員し7名になり、多少利用しやすくなりました。

今後とも、お母さんと、子ども達に更に少しでも役立てるようなプリムラにしていきたいと思えます。スタッフ一同で引き続き地域の子育て支援のお役になりたいと思っております。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。